

TOTO

台付2ハンドル混合水栓

TBG082型

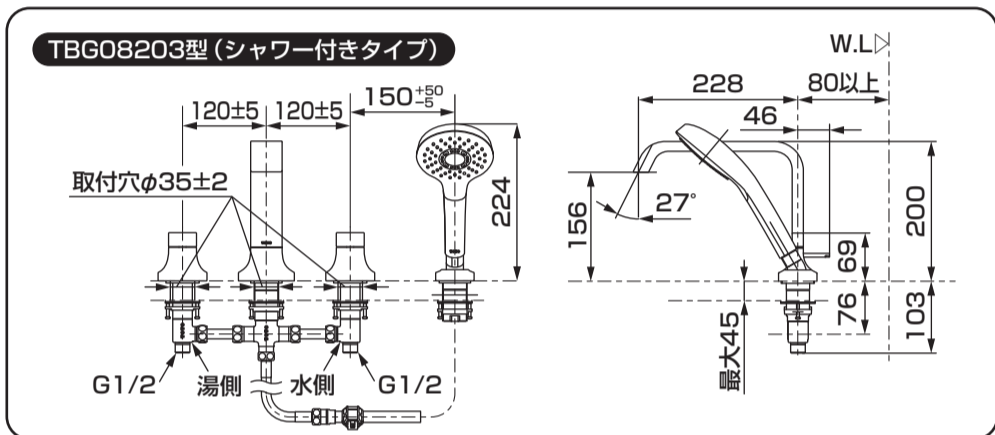
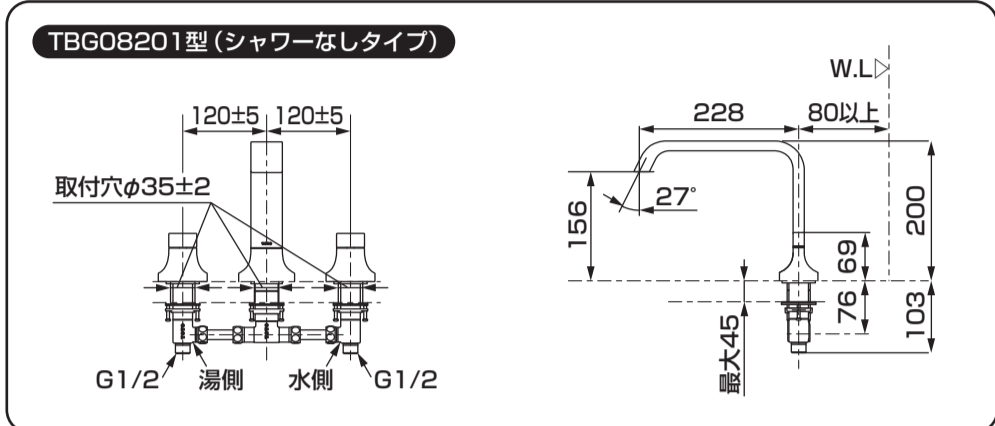
台付2ハンドル混合水栓 (TBG082型) では、同梱の施工説明書と下記内容が異なります。
その他の項目は、同梱の施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

施工説明書内容確認

手順	施工説明書	TBG082型用 施工説明書別紙
1.	安全上の注意	●
2.	仕様	●
3.	取り付け前に	●
4.	完成図	●
5.	部品の確認	●
6.	施工情報	●
7-1.	施工手順	●
7-2.		●
7-3.		●
7-4.		●
7-5.		●
7-6.		●
7-7.		●
7-8.		●
7-9.		●
8.	施工後の調節	●
9.	点検項目	●
10.	寒冷地の水抜き方法	●

4. 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。(単位: mm)



5. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体		シャワーヘッド部 (シャワー付きの場合)	
<p>＜通水本体用＞</p>		<p>＜バルブ本体用＞</p>	
<p>その他</p>		<p>水栓取付金具 (THK52) 別売品 ※湿式工法用</p>	
		<p>水栓取付金具 (THK53) 別売品 ※湿式工法用</p> <p>TBG082型専用</p>	

※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

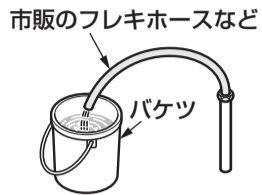
重要

商品を取り付ける前に
必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがバルブに詰まり、以下の事象が発生します。

- ①吐水量が少ない
 - ②水が止まらない
- 給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

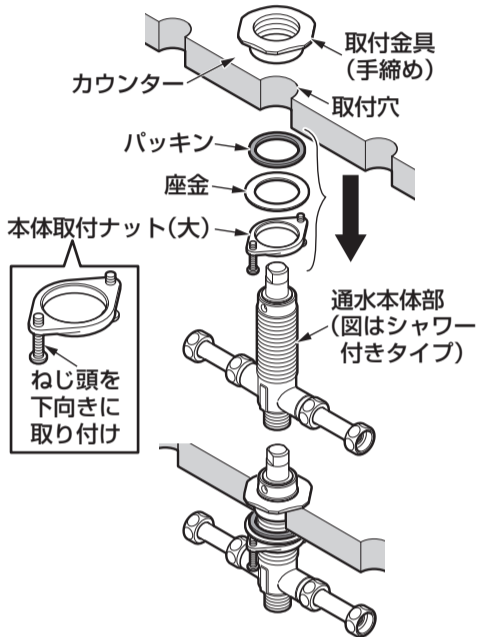


市販のフレキホースなどとバケツを準備し、給水・給湯管に市販のフレキホースを接続して、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。

<乾式工法の場合>

2 通水本体部の固定

- ①取付穴周囲の汚れを取る。
- ②通水本体部に本体取付ナット(大)(方向性あり)・座金・パッキンの順に取り付けておく。本体取付ナット(大)は本体ねじ部下端までねじ込む。
- ③通水本体部をカウンター下から差し込み、取付金具を通水本体部に当たるまでねじ込む。

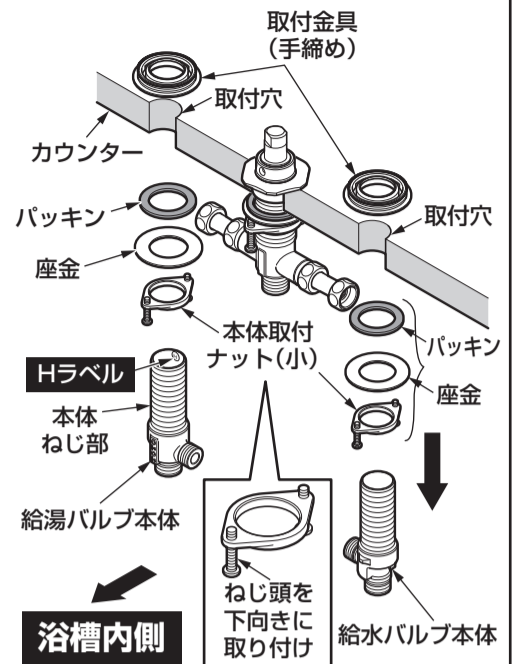


注意

取付金具をねじ込む際、軍手などを使用し、手を傷つけないように注意してください。

3-1 バルブ本体の固定 ※通水本体部と同様の手順

- ①バルブ本体に本体取付ナット(小)(方向性あり)・座金・パッキンの順に取り付けておく。本体取付ナット(小)は本体ねじ部下端までねじ込む。
- ②バルブ本体をカウンター下から差し込み、取付金具をバルブ本体に当たるまでねじ込む。



注意

- 必ず給湯バルブ本体(内側にHラベル)を浴槽内側から見て左側に給水バルブ本体(内側ラベル無)を右側に取り付けてください。
- 取付金具をねじ込む際、軍手などを使用し、手を傷つけないように注意してください。
- 取付穴に対してバルブ本体が偏りのないよう中央に取り付けてください。

3-2 バルブ本体の固定(つづき)

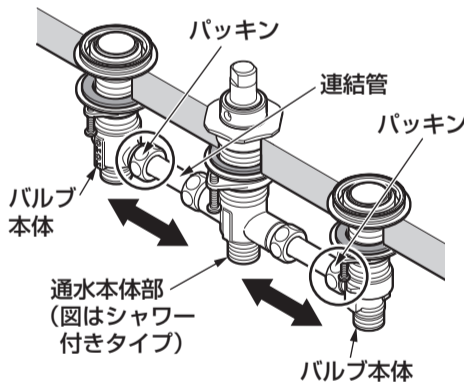
- ③連結管を締め付け、通水本体部とバルブ本体を接続する。

注意

- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 連結管は差し込み式となっているため、調整ができます。

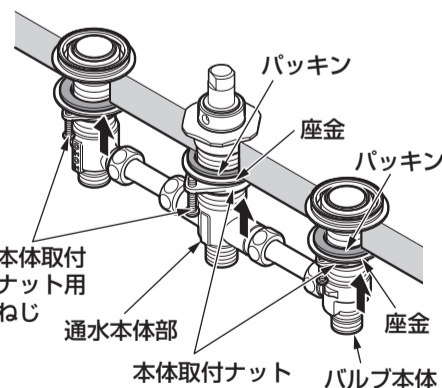


差し込み式



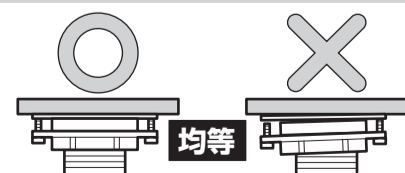
- ④連結管を接続後、通水本体部・バルブ本体の本体取付ナットをねじ込み、パッキン・座金をカウンター下面に押し付け、本体取付ナット用ねじが、ねじ込める位置に調節する。

- ⑤それぞれの本体取付ナット用ねじ(2本)を座金に強く押し付ける。



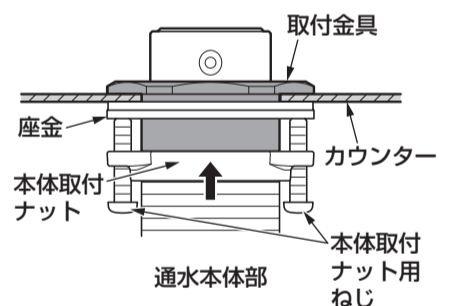
注意

本体取付ナット用ねじは均等に押し付けてください。傾いて取り付けると、バルブ本体が徐々にゆるみ、ガタツキや水漏れの原因となる場合があります。



カウンターの厚みが薄い場合(10mm以下)

通水本体部の本体取付ナットを取付金具に当たるまでねじ込み、本体取付ナット用ねじ(2本)を座金に強く押し付ける。



7-6.

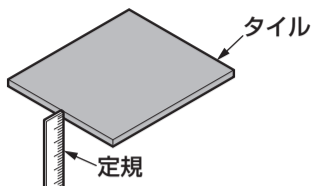
<湿式工法の場合>

3-2 通水本体部とバルブ本体のプレートへの固定(つづき)

②-1 タイルの厚みを測定する。

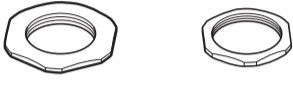



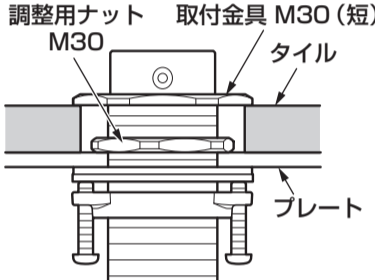
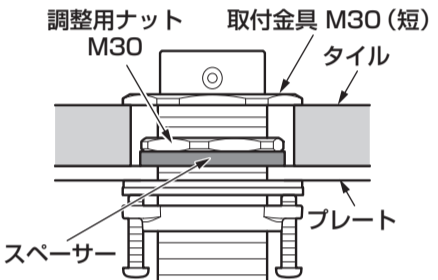
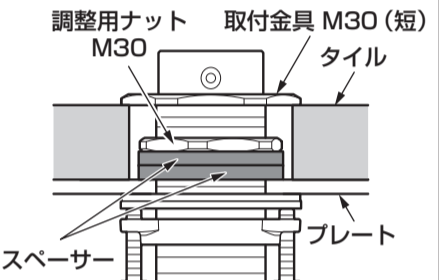
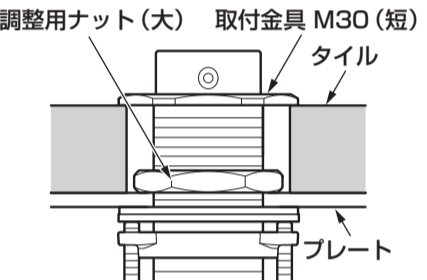
A寸法 = タイル厚み + 接着剤厚み + H寸法
 ※接着剤の厚み(目安2mm)を考慮ください

注意
 通水本体部に使用する部品はタイルの厚みによって異なるため、【表1】を確認ください。
 ※接着剤厚み(目安2mm)を考慮ください。



注意
 タイル厚みは5mm以上を使用ください。
 5mm以下の場合は接着剤で厚みを調整ください。

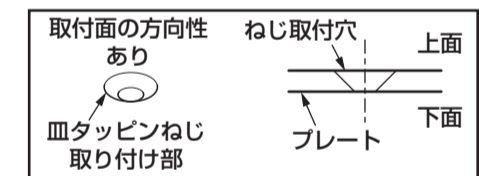
【表1】通水本体部使用部品

タイル厚み + 接着剤厚み	7~12mm	11~16mm	15~20mm	18mm以上
使用する部品	 取付金具 M30 (短) 調整用ナット M30 ※THK53に同梱	 取付金具 M30 (短) 調整用ナット M30 スパース (1個) ※THK53に同梱	 取付金具 M30 (短) 調整用ナット M30 スパース (2個) ※THK53に同梱	 取付金具 M30 (短) 調整用ナット (大) ※THK53に同梱 ※THK52に同梱
H寸法	9mm	5mm	1mm	9mm
図	 調整用ナット M30 取付金具 M30 (短) タイル プレート 通水本体部	 調整用ナット M30 取付金具 M30 (短) タイル プレート スパース 通水本体部	 調整用ナット M30 取付金具 M30 (短) タイル プレート スパース 通水本体部	 調整用ナット (大) 取付金具 M30 (短) タイル プレート 通水本体部

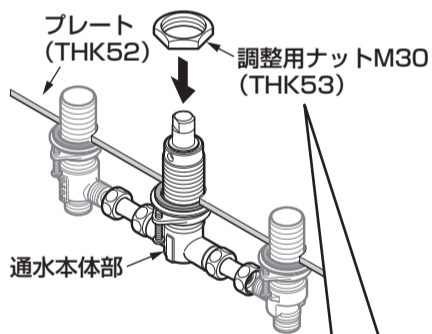
7-6.

3-2 通水本体部とバルブ本体のプレートへの固定(つづき)

②-2 プレート (THK52) の上下を確認し、下側から通水本体部を差し込む。

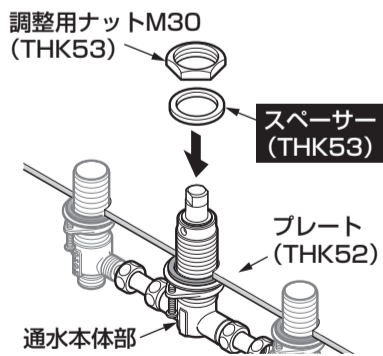


調整用ナットM30を通水本体部にねじ込み、**A寸法**位置に調整用ナットM30上面をあわせる。



スパースを使用する場合

プレートと調整用ナットM30の間に入れてください。

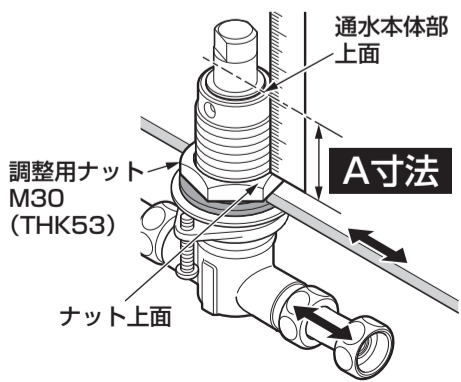


A寸法 = タイル厚み + 接着剤厚み + H寸法

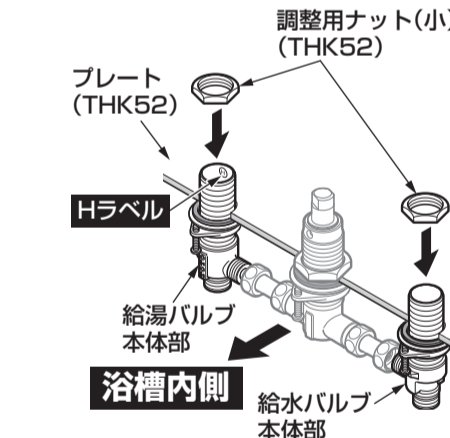
※接着剤厚み(目安2mm)を考慮ください
 ※H寸法は【表1】を確認ください

例. タイル厚み10mmの場合
 A寸法 = 10 + 2 + 9 = 21

注意
 A寸法測定する際、プレートの長手方向と平行に連結管をあわせた位置で測定してください。



②-3 バルブ本体も通水本体部同様に高さ調整を行う。
 バルブ本体をプレート下側から差し込み、プレート(THK52)に付属の調整用ナット(小)をバルブ本体にねじ込み、**B寸法**の位置にナット上面をあわせる。

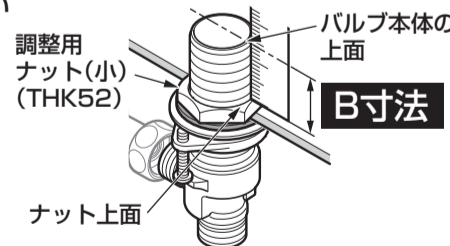


B寸法 = タイル厚み + 接着剤厚み + 2mm

※接着剤の厚み(目安2mm)を考慮ください

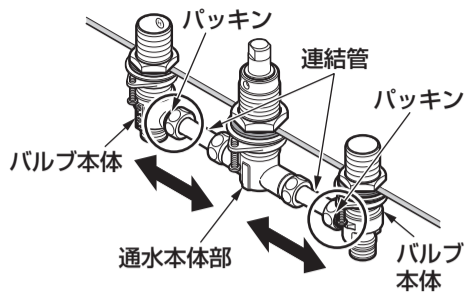
注意

- 必ず給湯バルブ本体(内側にHラベル)をスパウトの左側に給水バルブ本体(内側ラベル無)を右側に取り付けてください。
- 取付金具をねじ込む際、軍手などを使用し、手を傷つけないように注意してください。
- 取付穴に対してバルブ本体が偏りがないよう中央に取り付けてください。



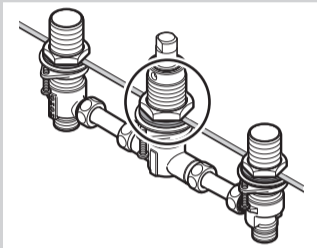
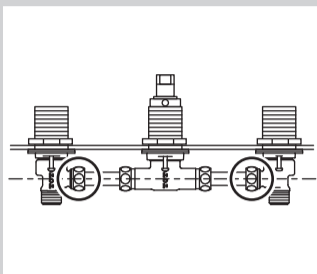
3-2 通水本体部とバルブ本体のプレートへの固定(つづき)

③ 連結管を締め付け、通水本体部とバルブ本体部を仮接続する。



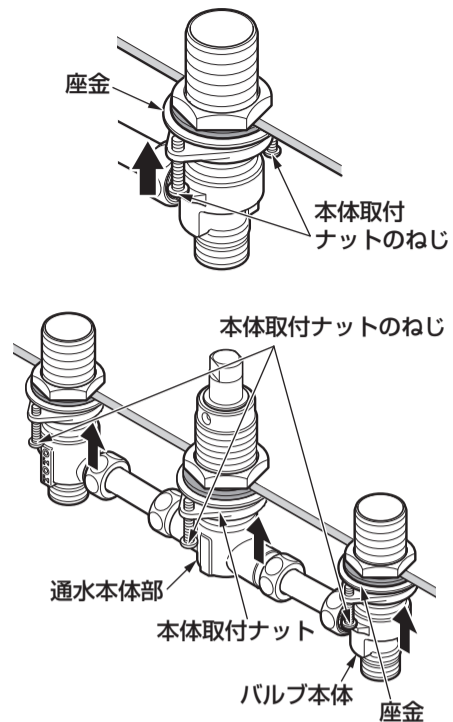
注意

- 通水本体部・バルブ本体部が傾いていないか確認する。
- 連結管締め付け時に高さのズレがないか確認する。
ズレがある場合、
① A寸法、B寸法の設定高さがあていない
② スペースの入れ忘れ(※スペースを使用する場合)により、スパウトが取り付けできないおそれがあります。
- 通水本体部・バルブ本体部を接続したあと、通水本体部のプレートと調整用ナットにすき間(浮き)がないか確認する。
すき間がある場合、
① A寸法、B寸法の設定高さがあていない
② スペースの入れ忘れ(※スペースを使用する場合)により、スパウトが取り付けできないおそれがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。
- 連結管は差し込み式となっているため、調整ができません。



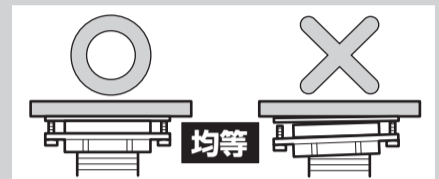
④ 連結管を接続後、通水本体部・バルブ本体の本体取付ナットをねじ込み、プレート下面に押し付ける。

⑤ それぞれの本体取付ナットのねじ(2本)を座金に強く押し付ける。



注意

取付ナットのねじは均等に押し付けてください。傾いて取り付けると、バルブ本体が徐々にゆるみ、ガタツキの原因となる場合があります。



本体取付ナットのねじを締め付けたあと、A寸法・B寸法が設定高さになっているか、もう一度測定してください。設定した高さになっていない場合、スパウトが取り付けられないおそれがあります。

重要



⑥ 高さ測定後、連結管を本固定する。

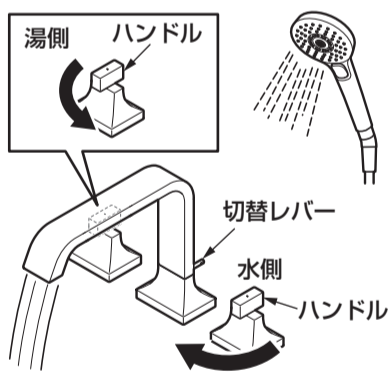
8. 施工後の調節

1. 水出し・水漏れの確認

・配管部の元栓を開け、スパウトおよびシャワーから水が出るか確認してください。吐水が乱れる場合はハンドルを数回開閉し、整流を確認してください。

シャワー付きの場合

- ・スパウトから水を出しながら切替レバーを引き上げて、シャワーから水が出るか確認してください。
- ・連結ホースの接続部とシャワーヘッドの接続部から水漏れがないか確認してください。



2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※フィルターを掃除する際は、湯側・水側のハンドルを閉め、フィルターを外し、フィルターに詰まったごみを歯ブラシなどで取り除いてください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)

※シャワーヘッドの取り付けは、継手の袋ナットにパッキンを入れ継手角度とシャワーヘッドの角度をあわせて取り付けてください。



スパウト部

① ねじ(2本)をゆるめ、吐水口キャップを外す。

ねじをなくさないようにしてください。

注意

吐水口キャップを外した際、整流網と一緒に外れていることを確認してください。スパウト側に残っている場合は精密ドライバーなど先の細い工具を使用して取り外してください。

② 整流網に詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。

③ 整流網、吐水口キャップを取り付ける。

吐水口キャップに整流網をセットした後、スパウトに指で押し込み、ねじを締めてください。

